

5 次世代を担う子供たちの外国語学力アップが必要

難問課題山積であった「素和美小学校」が開設しました

資源のない山梨県にとって人材こそ宝なり。真に発展する国際観光都市構築のためには次世代を担う子供たちの外国語学力アップが必要です。

そんな観点から、全国より生徒が集う「エジュケーションビレッジを創ろう」と壮大な構想をスタートさせたのが今から約20年前です。その間様々な障害や難問と戦いながら、今から3年前ついに「素和美（すおみ）小学校」を開校させました。

当時を振り返りますと、私学の方々との行き違いで猛反対が起こり、それに対峙するため県議会を巻きこむ中で、現地調査等を行うなど一言では言い表せない



▲素和美小学校 授業風景

苦難を乗り越え、ついに文科省に認可をいただき現在に至っています。

これから3年程度で素和美小学校の成果が、この卒業生に表れてくるものと考えます。そして近い将来「素和美」の卒業生からノーベル賞の栄に輝く人材が出ることを期待します。



▲素和美小学校校舎

6 十数回に及ぶ自殺防止対策関連を質問 粘り強くより効果的な改善策を提言

初当選以来、十数回に及ぶ自殺防止対策についての質問を行ってきました。しかし、本県の自殺者発生率は7年連続全国ワースト1となっていました。この間、自殺対策の先進県である秋田県や和歌山県を議員個人として視察し、積極的に提言をしてきました。

県も「命をつなぐ青樹ヶ原ネットワーク会議」を立ち上げたり、自殺予防推進大会、樹海ウォークの開催や出張メンタルヘルス講座開いて啓蒙活動を推進し防止対策に取り組んでいますが、依然効果はあがっていません。このまま放っておくことはできません。これからも、あらゆる知恵を絞りながら、県へ対策質し知恵を絞り提言していきます。



▲樹海ウォーク(平成26年8月17日)



▲自殺予防推進大会(平成25年9月10日)



▲自殺予防推進大会(平成25年9月10日)



▲出張メンタルヘルス講座

最後に

今回の8年間の軌跡に掲載した写真はほんの一部です。これからも地域の要望、声なき声を県当局に訴え、誇れる郡内「キラ星山梨」を目指して邁進する所存であります。皆様の更なるご支援をお願いします。

明日の山梨を元気に！
もっともっと
SHIRAKABE

山梨県議会議員
白壁賢一
活動レポート
【発行元】白壁賢一

Vol.30
2015/3



▲山梨県富士山世界遺産センター(仮)

移住先希望調査の全国1位 内容の実現に向かって奔走します

史上最高額となった平成27年国家年度予算の執行が、いよいよ4月からスタートします。併せて、新年度予算による県の主要事業、さらには各市町村単位の事業計画もはじまります。国の予算の重要項目には、「地方創生」という大きな目標が掲げられています。8年ぶりに新知事が誕生した本県にとっても、ふるさとの活性化に向けて、待ったなしの新年度になりそうです。

地域の活性化については、私の2期8年の県議会活動における最優先事項として取り組んでまいりましたが、まだ道半ばの思いでもあります。そうした中でも、富士山の世界文化遺産登録の実現など、富士北麓・道志地域の将来へ向けての足がかりも着々と進んでおります。今後の課題としては、本地域の基盤である観

光事業を軸に、産後ケアセンター、特別支援学校の充実、クニマスの資源活用、富士山噴火対策など、県の新体制に暮らしの向上に直結する要望と提言を継続したいと意気込んでおります。

過日、NPO法人・ふるさと回帰支援センターから発表された「ふるさと暮らし希望ランキング」では、連続で1位だった長野県を抜いて初の全国1位に輝きました。希望理由の「首都に近い自然豊かな環境」という条件は、富士山を望む北麓地域にはぴったり当てはまるものです。調査結果の具体化に向け、さらなる議会活動を展開していきます。

山梨県議会議員

白壁賢一



▲後藤斎山梨県知事と握手を交わす



▲横内元山梨県知事と

山梨県議会議員

白壁賢一 【しらかべ けんいち】

1960年生まれ。93年に33歳で旧河口湖町議に初当選、3期務める。2003年に富士河口湖町議に当選し2期。この間、議長などを歴任。07年に山梨県議会議員に初当選。自民党県民クラブに所属。

お気軽にご意見をお聞かせください。

「白壁賢一」で検索してください!

白壁賢一

検索

TEL 0555-73-3737 FAX 0555-73-3757

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1505

白壁賢一 公式サイト: <http://www.shirakabekenichi.jp/>

白壁賢一 E-Mail: Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp



世界遺産富士山を目指して来県された際の役割が重要

富士山世界遺産センター建設が着工の運びとなりました

建設する・しないから始まった富士山世界遺産センターですが、当時、建設場所に本栖湖観光案内所付近や西湖蝙蝠穴付近などがあげられ、可能性について検討し、最終は最適地の富士ビジターセンターの隣接地に決定しました。

今後国内外から大勢のお客様が世界遺産富士山を目指して来られ、その際にはこの施設の役割が重要になることは間違いありません。今後富士五湖道路と中央自動車道ICの統合問題や北麓駐車場とビジターセンター駐車場の連結、さらに富士山の通年型観光を可能にするロープウエー建設等々様々な提言や指摘を交えて世界遺産センターをフルに活用し、そして山梨静岡両県のシンボルとして発展するよう、県にたいして時に鋭くものを申して参ります。



▲山梨県富士山世界遺産センター(仮)室内展示イメージ



▲山梨県富士山世界遺産センター(仮)室内展示イメージ

妊娠・出産から子育てに至るお母さんの支援

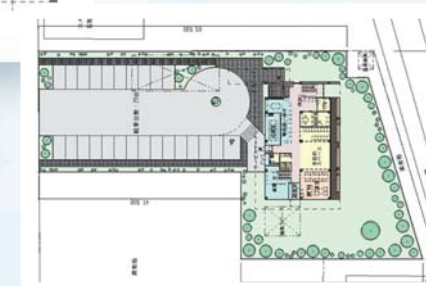
産前産後ケアセンターがついに着工へ

私の一般質問で全国初の県民全てが利用できる産前産後ケアセンターが建設の運びとなりました。

「進行する少子化に歯止めを掛けるためには、様々な視点から対策を講じなければなりません。これまで、妊娠・出産から子育てに至るお母さんの支援という点に目を向けたとき、特に、出産後4ヶ月ぐらいまで



◀産後ケアセンター建築図面イメージ案



のお母さん方に対する行政の支援というものが非常に希薄であることが指摘されていました。このセンターは、助産師を中心とする専門スタッフが、産後間もないお母さんに数日間宿泊いただき、心身の疲れを癒やししながら育児技術指導などのサービスを提供する施設であり、全県民が使えるようなセンターを整備するのは全国で山梨県が初めてです。

建設場所は、県の中央部に位置していることなどを考慮して、笛吹市の県立かえで荘跡地としており、来年早々には施設が完成する予定です。利用料金は今のところ、利用されるお母さんに1泊2食で6千円程度を御負担いただき、残額は県とお住まいの市町村で負担することとなっています。

地元との調整も終わり実施設計が完了

クニマス展示施設がついに着工へ

度重なる私の一般質問や西湖地区の要望から生まれたクニマス展示施設、多少スローリーなところもありますが、ようやく地元との調整も終わり実施設計が完了しました。

平成27年に着工、28年3月オープンを目途に工事を行います。総工費は約1億円を見込んでいます。遅くなっていることをお詫び申し上げます。



▲クニマス展示施設 室内イメージ



▲クニマス展示施設 室内レイアウトイメージ



▲クニマス展示施設 エントランスイメージ

先天的な障害のある小児を対象

富士・東部小児リハビリテーション診療所がついに完成



▲富士・東部小児リハビリテーション診療所

富士河口湖町の富士ふれあいの村内に、あけぼの医療福祉センターの分院として、先天的な障害のある小児を対象としたリハビリテーション診療所を平成27年4月に開設します。

診療所の概要

週2日の診療(水・木の予定)
床面積は約316㎡(約9.6坪)、平屋建て
診察室及び理学、作業、言語、心理の各療法室
理学療法、作業療法及び心理療法は中学生まで、言語聴覚療法は未就学児を対象

医療従事者

- ・小児科医師 1名
- ・看護師 1名(非常勤)
- ・理学療法士 1名
- ・診療報酬計算員 1名(委託)
- ・作業療法士 1名
- ・臨床心理士 1名(非常勤)
- ・言語聴覚士 1名